

授業科目名(英文名) / Course title	富山の地域づくり / Regional Development Efforts in Toyama				
担当教員(所属) / Instructor	大西 宏治(人文学部), 安江 健一(都市デザイン学部地球システム科学科)				
授業科目区分 / Category	教養教育科目 総合科目系				
地域課題解決型人材育成プログラム科目 / COC+Course 平成28年度入学者から適用	地域志向科目	授業種別 / Type of class	講義科目		
開講学期曜限 / Period	2025年度 / Academic Year 前期 / Spring 他	対象所属 / Eligible Faculty	全学部		
時間割コード / Registration Code	106952	対象学年 / Eligible grade	1年, 2年, 3年, 4年	単位数 / Credits	2.0単位
ナンバリングコード / Numbering Code	1X1-00041-2900				
Moodleコース統合時間割コード / Moodle course join Registration Code					
Moodleコース登録教員名 / Moodle course registered Instructor	大西 宏治, 安江 健一				
MoodleコースURL / Moodle course URL	https://moodle51.u-toyama.ac.jp/course/view.php?idnumber=2025_106952				
各種教育プログラム1 / Various educational programs1					
各種教育プログラム2 / Various educational programs2					
各種教育プログラム3 / Various educational programs3					
各種教育プログラム4 / Various educational programs4					
各種教育プログラム5 / Various educational programs5					
SDGsとの関連 / Related SDGs					
昨年度からの改善点 / Changes from last year					
リアルタイム・アドバイス / Real-time advice	更新日				
授業のねらいとカリキュラム上の位置付け(一般学修目標) / Course Objectives	教育目標 / Educational Goals				
<p>この授業は、富山市やまちづくりに関連する企業・団体の職員がゲスト・スピーカーとなって、それぞれが組むまちづくりについて、リレー式で授業を行うものである。</p> <p>県や市町村などの地方公共団体、そして国は、我々が暮らすまちを住みよいものにするために、様々なサービスを提供している。そのことを「まちづくり」と言い表すことがある。かつて、まちづくりは御上が行うもので、市民がそれに対して意見を出したり、自分たちで街づくりに取り組んだりすることはなかった。しかし、現在では行政は市民の声を取り上げたり、まちづくりへの市民の参画を呼びかけたりしている。そのような流れの中、富山市はどのようなまちづくりに取り組んでいるのかを知ることが、この授業のねらいの一つ目である。</p> <p>また、富山大学に通う学生の多くは富山県内に居住しているものの、富山県内の様々な場所にでかけて積極的に地域を知る活動をする学生は、残念ながら多くはない。そこで、富山市の職員に、各市の魅力や特色をまちづくりの視点から説明してもらい、学生たちの深い理解を創り出したい。</p> <p>学生の中には公務員を志す者も少なくない。公務員として働くということがどういうことなのか、そこで働く職員の生の声を授業で聞き、職業に対する理解も形成してほしい。</p> <p>この授業では、ゲスト・スピーカーから提供される話題に対する理解を深めるために、その内容に関してゲスト・スピーカーと学生のみなさんの間でのディスカッションを行う。学生のみなさんの積極的な質問や意見の投げかけを期待する。</p> <p>大学生の間だけ富山に暮らす受講者も少なくない。この授業を通して、学生のみなさんに富山のことを今まで以上に考えてもらえれば幸いである。</p> <p>行政での実務経験を持つ教員が、その経験を踏まえ、より実践的な講義を提供します。</p>					
達成目標 / Course Goals					

<p>1. まちづくりが国や地方公共団体によって、多面的に取り組まれていることを理解する。</p> <p>2. 地域の未来についてデータの基に基づき考えることができる。</p>	
<p>授業計画（授業の形式、スケジュール等） / Class schedule</p>	
<p>富山市や各種団体からのゲスト・スピーカーの講義をもとに、ディスカッションを行う。授業計画は富山市と協議ののち以下のものから変更される可能性もある。</p> <p>場所 富山大学五福キャンパス</p> <p>第1回 オリエンテーション：まちづくりとは？ 富山で活動する団体・企業の取り組み</p> <p>第2回 立山黒部ジオパーク協会の取り組み（安江・都市デザイン学部）</p> <p>第3回 富山県における農業戦略（富山県農村整備課）</p> <p>第4回 富山県の交通戦略（富山県交通戦略室）</p> <p>第5回 富山市の中心市街地活性化の取り組み（富山市まちづくり推進課）</p> <p>第6回 富山市の環境政策とSDGs（企画調整課）</p> <p>第7回 富山市の観光政策とその課題（観光政策課）</p> <p>第8回 富山市のスマートシティ事業（スマートシティ推進課）</p> <p>第9回 富山のこれからを考えるワークショップ（1）</p> <p>第10回 富山のこれからを考えるワークショップ（2）</p> <p>第11回 富山のこれからを考えるワークショップ（3）</p> <p>第12回 富山のこれからを考えるワークショップ（4）</p> <p>最終日</p> <p>第13回 発表準備</p> <p>第14回 発表会（1）</p> <p>第15回 発表会（2）</p>	
<p>授業時間外学修（事前・事後学修） / Independent Study Outside of Class</p>	
<p>事前学修 あらかじめ、各回の講義の理解を促すための情報源（HPのurlなど）を提示し、事前に目を通すとともに、自治体の取り組みの事前学習など、おおむね毎回2時間ぐらいの時間が必要とされる。</p> <p>事後学修 各回の講義に関連する新聞記事などを見つけ出し、講義内容に対する理解を深める。ここにもおおむね2時間ぐらいの時間が必要とされる。</p>	
<p>キーワード / Keywords</p>	<p>富山県庁、富山市役所、コンパクトシティ、スマートシティ、未来協創、まちづくり、公務員、SDGs、レジリエンス</p>
<p>履修上の注意 / Notices</p>	<p>ゲスト・スピーカーからの話題提供のあと、20分程度の質疑応答を行います。きちんとした質問ができるよう、しっかりと考えながら話を聞いてください。</p> <p>集中講義形式のワークショップがあります。ワークショップを欠席する者の履修は認めません。病気等の理由で結果的にワークショップを欠席した場合も得点の半分が得られないため単位を取得できません。</p>
<p>教科書・参考書等 / Textbooks</p>	<p>教科書</p> <p>参考書</p> <p>・大学の富山ガイド：こだわりの歩き方 / 富山大学地域づくり研究会編；大西宏治... 昭和堂、2020.10 <https://opac.lib.u-toyama.ac.jp/opc/xc/search/%2A?os[isbn]=9784812219379></p> <p>教科書・参考書に関するその他通信欄</p> <p>特に指定しない。 各回に用いられたスライド等の資料をMoodleに掲載するので、必要に応じて確認すること。</p>
<p>成績評価の方法 / Evaluation</p>	<p>各回の講義についてのコメント・シート 各10点×7回=70点</p> <p>ミニワークショップ 各15点×2回=30点</p> <p>第10～15回についての参加の状況とコメント・シート 100点</p> <p>合計200点を100点満点に換算して評価する</p>
<p>関連科目 / Related course</p>	
<p>リンク先URL / URL of syllabus or other information</p>	
<p>備考 / Notes</p>	